

記載例

様式第 6 号(第 4 条関係)

☐ 燃料電池発電設備
☐ 変電設備
☐ 急速充電設備
☐ 内燃機関を原動力とする発電設備
☒ 蓄電池設備
☒ 設置届
☐ 変更

〇〇年〇〇月〇〇日				
苫小牧市消防長 様		届出者 住 所 苫小牧市新開町 2 丁目 1 2 番 7 号 氏 名 苫小牧消防社 代表取締役 消防 太郎 連絡先 0 1 4 4 - 5 3 - 9 1 1 9		
防 火 対 象 物	所在地	苫小牧市新開町 2 丁目 1 2 番 7 号 電話 0 1 4 4 - 5 3 - 9 1 1 9		
	名 称	苫小牧消防社	用 途	1 5 項 事務所
設 置 場 所	構 造	R C 造		
	階 層	☒ 屋内 (2 階) ・ ☐ 屋外	不 燃 区 画	☒ 有 ・ ☐ 無
	床面積	※〇〇 m ²	換 気 設 備	☒ 有 ・ ☐ 無
※床面積は蓄電池設備の届出の留意事項【別紙】を参照。 屋外の場合は記入不要		圧	4 8 V	全 出 力 15,000 A h kW 又は蓄電池容量 kWh
設 備	着工(予定) 〇〇年〇〇月〇〇日		完成(予定) 〇〇年〇〇月〇〇日	
	設備の概要		種 別	☒ キュービクル式 (☒ 屋内 ・ ☐ 屋外) ・ ☐ その他
主任技術者氏名		電気主任技術者 消防 二郎		
工 事 施 行 者	住 所	苫小牧市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 電話 〇〇-〇〇〇〇		
	氏 名	〇〇株式会社 代表取締役 消防 三郎		
※受付欄		※経過欄		

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 「電圧」の欄には、変電設備にあつては一次電圧及び二次電圧の双方を記入すること。
- 「全出力又は蓄電池容量」の欄には、燃料電池発電設備、変電設備、急速充電設備又は内燃機関を原動力とする発電設備にあつては全出力を、蓄電池設備にあつては蓄電池容量(定格容量)を記入すること。
- 「設備の概要」の欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- ☐ 印のある欄には、該当の ☐ 印に ☒ を付けること。
- ※印の欄は、記入しないこと。
- 当該設備の設計図書を添付すること。

蓄電池設備概要表

電 圧	☐ 12V ☐ 24V ☒ 48V ☐ 96V ☐ 108V ☐ その他 _____ V	
工事種別	☒ 新設 ☐ 増設 ☐ 移設 ☐ 取替え ☐ 改造 ☐ その他	
設置場所	☒ _____ 2 階 ☐ 屋上 ☐ 屋外	
非常電源	☐ 消防用設備の非常電源 ☒ 一般商用電源	
キュービクル式	☒ 該当 (☐ 消防庁告示適合) ☐ 非該当	
設置室	構造	不燃区画 [☒ 有り ☐ 無し] 壁 [☒ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃 ☐ その他] 床 [☒ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃 ☐ その他] 天井 [☒ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃 ☐ その他] 開口部 [☒ 防火設備 ☐ その他] ケーブル貫通処理 (☒ 不燃材料による処理 ☐ その他) 換気 (☐ 自然換気 ☒ 機械換気 ☐ FD 付)
	内装	壁 [☐ 不燃材料 ☐ 不燃認定材料 ☐ その他 ☒ 無し] 天井 [☐ 不燃材料 ☐ 不燃認定材料 ☐ その他 ☒ 無し]
設備概要	定格容量 <u>300</u> Ah × セル数 <u>50</u> = 条例出力 <u>15000</u> Ah・セル 蓄電池種別 ☐ ベント形 (☐ 鉛 ☐ アルカリ) ☐ 鉛シール型 (☐ 触媒栓式 ☐ 陰極吸収型) ☐ アルカリシール型 (☐ 触媒栓式 ☐ 陰極吸収式) ☒ リチウムイオン ☐ その他の蓄電池	
耐震措置	☒ アンカーボルト ☐ 溶接 ☐ その他 (_____)	
消火設備	☒ 消火器 ☐ 大型消火器 ☐ ハロゲン化物消火設備 (☐ 固定式 ☐ 移動式) ☐ 粉末消火設備 (☐ 固定式 ☐ 移動式) ☐ 二酸化炭素消火設備 (☐ 固定式 ☐ 移動式) ☐ その他 (_____)	
備考欄		

※項目中□欄は、該当するものをレ印又は■でアンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

蓄電池設備の届出の留意事項

※床面積	- 蓄電池設備を<u>設置する室の面積</u>を記入してください。 - 大規模な工場などの 200 m²以上の区画室に設備を設置する場合は、消防本部予防室に確認後に記入してください。 ※屋外の場合は記入不要
------	---

蓄電池設備設置届の添付図書

添付図書	① 蓄電池設備概要表、キュービクル概要表（キュービクル式の場合） ② 建物の案内図 ③ 建物の平面図（設備の設置位置の明示） ④ 設置室の詳細図（壁や天井、扉や窓の構造（防火設備等）） ⑤ 設備仕様書（キュービクル式の場合はその仕様書） ⑥ 単線結線図又は三線結線図（電力供給先の用途を明示すること） ⑦ 消火設備等の配置図（消火器、粉末消火設備等） ⑧ その他必要と認められるもの ※同一室内に他の電気設備（変電・蓄電・発電設備等）が設置されている場合は、その位置・種別・能力を明示してください。
------	---

蓄電池設備概要表の記入要領

工事種別	新設 従前設けられていないものを新たに設けることをいう。 増設 構成機器・装置等の一部を付加することをいう。 移設 構成機器・装置等の全部又は一部の設置位置を変えることをいう。 取替え 構成機器・装置等の一部を既設のものと同等の種類、性能・機能等を有するものに交換することをいう。 改造 構成機器・装置等の一部を付加若しくは交換し、又は取り外して設備の構成、機器、性能を変えることをいい『取替え』に該当するもの除く。 その他 上記以外。
非常電源	電力の供給先に、屋内消火栓やスプリンクラー設備などの消防用設備が含まれている場合は、消防用設備の非常電源を選択してください。消防用設備の非常電源の場合は <u>消防用設備等設置届出書の提出</u> が必要になります。
キュービクル式	キュービクル式蓄電池設備に該当し消防庁告示認定品の場合は、別紙キュービクル蓄電池設備概要表の提出は不要となります。
設置室	キュービクル式ではない蓄電池設備を屋内に設置した場合は、不燃区画室を必要とする場合があります。 不燃区画室の内装にて不燃認定材料を使用している場合は、不燃認定番号等を平面図に明示するか資料を添付してください。
設備概要	リチウムイオン電池を設置し電解液の保管量が指定数量の 5 分の 1 以上となる場合には、『少量危険物貯蔵、取扱届』の提出が必要となります。 《『少量危険物貯蔵、取扱届』の提出が必要な場合…電解液の数量が 2 0 0 ℓ 以上》